

ちえのわ

2024年6月4日発行 第1号 文責:山野

研究部通信「ちえのわ」には、3つの意味がこめられています。

- ①皆さんの知恵を合わせて、研修の「輪」を回していきたい！
- ②「和」気あいあいとした雰囲気、研修を進めていきたい！
- ③ちえのわで遊ぶように、「試行錯誤」して授業を考えていきたい！



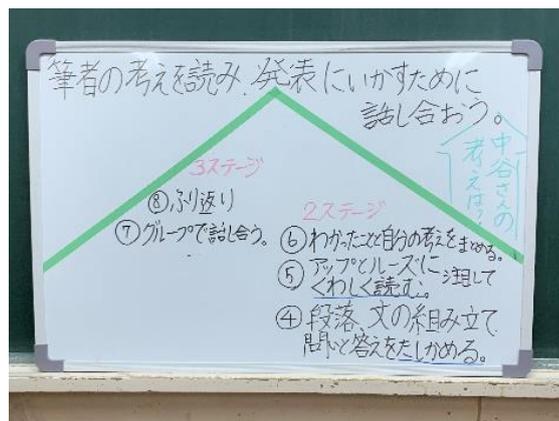
この通信を通して、校内研修にかかわることはもちろんのこと、教科を問わず普通の授業にプラスとなる情報なども発信していきます！読みづらい部分等あるかと思いますが、まずはやってみよう！の精神でいきますので、温かい目と心で読んでいただければ嬉しいです！

5/21提案授業 西保先生おつかれさまでした！

5月21日（火）2校時、4年1組で西保先生による提案授業がありました。（国語科「アップとルーズで伝える」）研究部で話し合った結果、ラーニングマウンテンの作り方がよくわからないという意見も多く、「ラーニングマウンテンの立て方」の場面を見せていただきました。今回の西保先生の授業をベースに、今後の研究に活かしていきましょう。事後研で話し合われた内容を簡単にお知らせします。

1 授業者より

今回の授業のねらいとして、子どもたちに目的意識をもたせて一緒にLM(ラーニングマウンテン)をつくるということ。そして、参加意識を高めるために、クロムブックを使用した。子どもたちは、前向きに参加できていたと思う。そして、今日は「LMの立て方を学ぶこと」が目的であったため、教師主導で進めた。今後、経験を積むことで子どもたちが、自ら考えてLMを作っていけるようになり、今まで積み上げてきたものを活用していけたらと思う。全文シートについては、単元の構成をしっかりとつかませるために、用意した。



2 ブロックごとに意見交流

【話し合いの柱】

- (1)「思いやりのデザインで学んだことを基に、読みのプロセスを考え、ラーニングマウンテンに活かそうとしていたか。
- (2)ラーニングマウンテンの活用についての疑問

成果

- 「読みのプロセス」は、子どもたちは筆者の主張や「初め・中・終わり」を理解していてよかったと思う。全文シートで文章の構成・組み立てがわかりやすかった。
- 「思いやりのデザイン」で学んだことを基に、筆者の考えに注目することができていた。（子どもが全文シートに線を引ながら聞くことができていた。）
- 丁寧に発問し、LMを作り上げていた。LMを活用していくことで、学び方がわかり、自ら学ぶ子に育つと感じた。
- ジャムボードでの交流で、視点が明確になっていた。

課題

- LMの活用については、ゴールを「やってみたい！」と思えるもの、「筆者の技を学ぶ」という意欲をもたせてもよかった。
- 「よりよくする方法」という目標が抜けてしまったため、めあてがぼやけてしまった。子どもたちから引き出す発問が必要だったのでは。

その他

○LMのホワイトボードが小さくて、見えづらいことがわかった。ロイロノートやテレビに映すとわかりやすいのではないかな。

指導助言～田隈指導主事より

- 「LMは何のために作るのか？」について、共通の認識で研修を進めていくことが大切！
- LMのゴールとなる言語活動については、前年度の取組を研修で共有するとよい。

LMの活用のポイント

- ①教えることを明確にして、発問・指示を減らしていく。
- ②教科横断的な取組にしていく。
- ③子どもが主語の授業にしていくことで、生活に活かしたいと感じられるようにする。
- ④教えることと考えさせることにメリハリをつけ、「次は自分たちの力で」と子どもに委ねるようにする。

指導案には、何のために学ぶのか、何に役立つのかをはっきり記されていた。

発表会をよりよくするために、学びの山をたてよう。

- 目的をはっきりさせて、単元のゴールを考える。
- 「筆者が伝えるときに大切だと考えている」とは何がつかむために、確かめること、詳しく読むことを整理してまとめる。
- ・総合の発表をよりよくするために話し合うことを意識させる。
- 「思いやりのデザイン」で学んだことを基に、読みのプロセスについて考えさせる。(視点1)
- ◎単元のゴールを意識して、学習の見通しをもつことができています。(発表・ローカルシート)

☆研究部としては、前年度にLMで子どもも教師も見通しがもてるようになってきたので、今年度は「子どもに学ぶ意味と内容を組み立てる力をつけるため」を目指していきたいと考えています！「どうすれば…」と迷ったときには、「何のために？」を合言葉に、みんなで考えながら進めていきましょう！

(教頭先生より)

- ・「自分だったらどうするかな？」という視点で、授業をみていく。
- ・授業で「自分のためになるんだな」という意識をもたせ、ゴールを設定していく。

(校長先生より)

- ・考えをもたせるきっかけとしてICTを使い、ペアトークにつなげるなど、意図をもってICTを活用する。